

JAC創立100周年記念国内登山(中央分水嶺踏査)の山行報告書

(1)～(8)は必ず記入してください。(9)～(11)は、気づいた事項があれば記入してください。

(1) 担当支部:	関西支部	(2) 記載者氏名:	阿部和行	会員番号:	4498	事務局整理記入欄	関西 - 6
分水嶺区分	W204藤阪峠～W203～W202手前ピーク	(3) 山行日:	2004年	6月	29日	(4) 天候	曇りのち晴れ

(5) 参加者氏名および会員番号

サポート要員氏名および会員番号

阿部和行	4498						
		計		1		計	名

(6) 山行記録・位置確認(出発点・ピーク・峠・到達点など、主要ポイントに関して)・所要時間・道の状況

コース概略:	関西区分1-3の後半のうち弓谷峠からの半分を6/14に歩いたので、残りの範囲を末端の藤阪峠から逆に迎った。												
アプローチ:	車で出発点の峠まで行き、峠に駐車												
地点コード	地点名	2.5万分の1 地形図名	経度E			緯度N			高度 m	到着 時刻	出発 時刻	道の 状況	(8)～(11)の特記 事項等との関係
			度	分	秒	度	分	秒					
歩行開始点	藤阪峠	1/5万 園部								8.00			
分水嶺到達点W204	藤阪峠												
	最初のピーク								8.35				
W203	二つ目のピーク							429	8.40				標点あり
	六つ目のピーク								9.20				9.41引き返す
	三つ目のピーク												分水嶺を辿る
	初めのピーク												県境杭あり
	次のピーク								12.04				県境杭あり
分水嶺離別点	四つ目のピーク												南へ下山
歩行終了点	藤阪峠												
総歩行時間(休憩時間を除く):													

(7) 三角点の位置と保存状況

上記(6)の地点コードを 記入してください	点名	等級	方位	保存 状況	特記事項
二つ目のピーク	標点		北	良	

(8) 人工施設の現況および地形図との相違点

切り開き、踏み跡、県境杭あり。尾根の一部を網で取り囲んで入れなくした地点が二カ所あり。意味不明。 地形が細かくて地図との照合が困難。切り開きに吊られて尾根を間違え二時間ほどロスをして引き返したが、その尾根も途中で切れてやむなく里へ下降した。

(9) 水および植生に関連した特記事項

樹林のため見通し全く効かず、ただし下生えは少なかった。

(10) その他の特記事項

(11) 写真の添付:(有りの場合には、写真説明を記入してください)

写真説明: